

- 75) 坂本裕美、吉村公雄、佐伯宣久、片井均、下田忠和、大浪澄子、関根章博、Kyong-Ah Yoon, Il Ju Choi, 中村祐輔、廣橋説雄、吉田輝彦. Diffuse 型胃がんの易罹患性と相関する PSCA 遺伝子多型. 第 67 回日本癌学会学術総会. 名古屋国際会議場 (2008).
- 76) 吉田輝彦、牛尼美年子、菅野康吉. 第 24 回日本小児がん学会. 教育セッション. 網膜芽腫の遺伝学・遺伝相談. 幕張メッセ国際会議場(2008).
- 77) 吉田輝彦、佐伯宣久、吉村公雄、青柳一彦、佐々木博己、近藤格、坂本裕美. 胃がんのゲノム網羅的関連解析と、疾患ゲノムデータベース GeMDBG. シンポジウム「新たなステージに入ったがんオミクス研究」. 第 31 回日本分子生物学会年会・第 81 回日本生化学大会合同大会(2008).
- 78) 城 青衣他: Novel diagnostic approach to pediatric acute myelogenous leukemia with DNA microarray, 第 67 回日本癌学会学術総会 (2008).
- 79) 城 青衣他: DNA マイクロアレイによる小児急性骨髄性白血病の診断, 第 50 回日本小児血液学会 (2008).
- 80) Miyake M, Sugano K et al.: Sensitive detection of fibroblast growth factor receptor 3 gene mutations in urothelial cell carcinoma of the bladder and urine sediments by peptide nucleic acid mediated real-time PCR clamping. 36th Congress of the International Society of oncology and Biomarkers (2008).
- 81) 菅野康吉、中村清吾、安藤二郎、神野広光、池田正、青木大輔、福富隆志、吉田輝彦、新井正美、平井康夫、霞富士雄、福井崇史、三木義男: 遺伝性乳癌卵巣癌が疑われる日本人を対象とする BRCA1/2 遺伝子変異の横断的研究 第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 82) 三宅牧人、菅野康吉、市川寛樹、川島清隆、平林かおる、金井弥栄、藤本清秀、平尾佳彦: 膀胱癌における FGFR3 遺伝子点突然変異と臨床病理学的因子との関連性の検討 第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 83) 松本絵里、今井一穂、友田茉莉、松村善昭、川島清隆、飯田勝之、小池祐介、平林かおる、五十嵐誠治、前田耕司、服菌真一、菅野康吉: 膀胱癌の遺伝子診断-腫瘍組織および尿検体からの 9 番染色体および 17 番染色体短腕の LOH 検出の有用性についての検討 第 28 回日本分子腫瘍マーカー研究会(2008).
- 84) 石井正純、三宅牧人、菅野康吉: 膀胱癌株由来ミトコンドリア欠損細胞におけるプロトポルフィリン IX 蓄積量の検討 第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 85) 塚田俊彦、永村優央子、大倉永也、多内分泌腺腫瘍症 1 型類縁疾患の臨床病型と変異型メニンの安定性の相関、第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 86) 大倉永也、永村優央子、塚田俊彦、核内受容体 NOR1 と染色体転座由来融合遺伝子産物 EWS/NOR1 との転写調節における差異、第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 87) MicroRNAs AS THERAPEUTIC TARGETS: POTENTIAL EFFECT ON PROSTATE CANCER MANAGEMENT. Takahiro Ochiya 第 14 回日本遺伝子治療学会総会(2008).
- 88) 幹細胞の持つ肝細胞分化能と肝疾患治療効果、落谷孝広、第 15 回肝細胞研究会総会 (2008).
- 89) RNAi によるがんの予防・診断・治療 (シンポジウム)、落谷孝広、第 36 回薬物活性シンポジウム(2008).
- 90) RNAi-mediated silencing of cancer. Takahiro Ochiya. 第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 91) Identification of MicroRNAs Involved in Drug Resistance in Human Breast Cancer Cell Lines. Fumitaka Takeshita, Yusuke Yamamoto, Kaho Minoura, Ryou-u Takahashi, Nobuyuki Kosaka,

- Kimi Honma, Takahiro Ochiya. 第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 92) Detection of lung metastasis-related microRNA in human osteosarcoma cell. Mitsuhiko Osaki, Fumitaka Takeshita, Hisao Ito, Mitsuo Oshimura, Takahiro Ochiya. 第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 93) The inhibition of human prostate cancer cells on bone-metastatic site by treatment with miR-16. Ryou-u Takahashi, Fumitaka Takeshita, Takahiro Ochiya. 第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 94) Generation of Oct-4/Venus Transgenic Rat for Establishment of Embryonic Stem Cells. Masaki Kawamata, Takahiro Ochiya. 第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 95) Identification and characterization of a novel tumor suppressor gene on chromosome arm 18q in human pancreatic cancer. Satoru Yokoyama, Fuyuhiko Motoi, Hideo Ohtsuka, Masaharu Ishida, Nobukazu Tsukamoto, Naoyuki Kaneko, Shinichi Egawa, Michiaki Unno, Toru Furukawa, Makoto Sunamura, Takahiro Ochiya, Akira Horii. 第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 96) Development of a mouse model for suppression of peritoneal metastasis for diffuse-type gastric cancer. Takeshi Fujita, Fumitaka Takeshita, Kazuyoshi Yanagihara, Hiroyuki Ohta, Tomoko Mabuchi, Kazuhiko Aoyagi, Takeo Fukagawa, Hitoshi Katai, Takeshi Sano, Takahiro Ochiya, Teruhiko Yoshida, Hiroki Sasaki. 第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 97) Potential of miRNA as cancer diagnosis and a target for therapy. Takahiro Ochiya. 第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 98) Highly efficient microRNA delivery to tumor metastasis. Takahiro Ochiya. 第 67 回日本癌学会学術総会(2008).
- 99) 「Organ Biology における再生医学の役割」-ヒト間葉系幹細胞による肝再生医療の実現に向けて-、落谷孝広、(シンポジウム)第 35 回日本臓器保存生物医学学会定期学術集会(2008).
- 100) 未分化ラット ES 細胞の樹立を目指した Oct4/Venus トランスジェニックラットの作成. 川又理樹, 清水卓, 玉井淑貴, 落谷孝広. 第 31 回日本分子生物学会(2008).
- 101) ヒト乳がん細胞株における薬剤抵抗性に関与する miRNA の同定. 高橋陵宇, 竹下文隆, 山本雄介, 箕浦加穂, 田谷敏貴, 小坂展慶, 落谷孝広. 第 31 回日本分子生物学会(2008).
- 102) ヒト骨肉腫細胞における肺転移関連マイクロ RNA の検出. 尾崎充彦, 竹下文隆, 小坂展慶, 井藤久雄, 押村光雄, 落谷孝広. 第 31 回日本分子生物学会(2008).
- 103) 脂肪に由来する間葉系幹細胞の創薬・治療研究への応用. 落谷孝広. 第 8 回ヒューマンサイエンス研究資源バンクセミナー(2009).
- 104) 吉田輝彦, 佐藤泰憲, 佐々木博己. Pharmacogenomics Symposium. オミックス医療研究会・創薬 PGx 分科会(東工大石川智久先生). ゲノムあるいはトランスクリプトーム情報を用いたがんの予知医療開発例と今後の課題、及び疾患ゲノムデータベース GeMDBJ. (2009).
- 105) 大浪澄子, 佐伯宣久, 坂本裕美, 吉田輝彦. 未分化型胃腺がんの易罹患性と相関する PSCA 遺伝子多型. 日本人類遺伝学会第 54 回大会. グランドプリンスホテル高輪. (口演 OA-066)(2009).
- 106) 馬淵智子, 青柳一彦, 藤田剛, 竹下文隆, 落谷孝広, 吉田輝彦, 佐々木博己. SPP1 はヘッジホッグ信号伝達系のがん特異的下流因子の一つとして, 食道扁平上皮がんの悪性度に関与する. 第 68 回日本癌学会学術総会. パンフィコ横浜. (示説 P-0249)(2009).
- 107) 坂本裕美, 大浪澄子, 佐藤泰典, Suleeporn Sangrajrang, 吉田輝彦. エストロゲン代謝酵素

- の遺伝子多型とタイ王国の乳がんリスク. 第 68 回日本癌学会学術総会. パシフィコ横浜. (示説 P-0327)(2009).
- 108) 大浪澄子、安東正貴、片井均、下田忠和、坂本裕美、吉田輝彦. 体系的候補遺伝子解析による胃がんの遺伝素因探索. 第 68 回日本癌学会学術総会. パシフィコ横浜. (示説 P-0329)(2009).
- 109) 佐々木博己、深川剛生、森和彦、坂本裕美、片井均、吉田輝彦. 腫瘍トランスクリプトーム解析による胃がんの術後再発予測. 第 68 回日本癌学会学術総会. シンポジウム8「分子情報を用いた個別化医療の TR」パシフィコ横浜 (2009).
- 110) 鳴海兼太、近藤篤、後藤尚子、大浪俊平、竹下文隆、落谷孝広、五十嵐美徳、吉田輝彦、青木一教. 腫瘍内インターフェロン遺伝子導入は、自家造血幹細胞移植の抗腫瘍免疫を増強する. 第 68 回日本癌学会学術総会. パシフィコ横浜(口演 O-475)(2009).
- 111) 上野秀樹、奥坂拓志、古瀬純司、石井浩、坂本裕美、斎藤嘉朗、澤田純一、西條長宏、吉田輝彦、佐藤泰典. ゲムシタピンの投与を受けた振興膵癌患者におけるゲノムワイド関連解析. 第 68 回日本癌学会学術総会. パシフィコ横浜(口演 O-487)(2009).
- 112) 牛尼美年子、菅野康吉、鈴木茂伸、坂本裕美、吉田輝彦. 国立がんセンター中央病院における網膜芽細胞腫の遺伝子診断. 第 68 回日本癌学会学術総会. パシフィコ横浜(口演 O-516)(2009).
- 113) 吉田輝彦、山本昇、國頭英夫、大江裕一郎、大浪澄子、坂本裕美、佐藤泰典、澤田純一、西條長宏、田村友秀. 非小細胞性肺がんに対するカルボプラチン及びパクリタキセル治療後の予後と関連する SNP のゲノム網羅的探索. 第 68 回日本癌学会学術総会. パシフィコ横浜. (口演 O-557)(2009).
- 114) 藤田剛、竹下文隆、馬淵智子、青柳一彦、坂本裕美、深川剛生、片井均、佐野武、落谷孝広、吉田輝彦、柳原五吉、佐々木博己. 胃癌腹膜播種マウスモデルにおける NEDD1 siRNA による生存期間の延長. 第 68 回日本癌学会学術総会. パシフィコ横浜. (口演 O-638)(2009).
- 115) 青柳一彦、佐野正行、高橋広夫、馬淵智子、藤田剛、井垣弘康、日月裕司、本多裕之、落合淳志、吉田輝彦、佐々木博己. 食道扁平上皮がんの悪性度と相関するリンパ節転移の FOXA1 転写経路を介した新たな分子機構. 第 68 回日本癌学会学術総会. パシフィコ横浜. (示説 P-0932)(2009).
- 116) 近藤篤、鳴海兼太、後藤尚子、大浪俊平、五十嵐美徳、吉田輝彦、青木一教. I 型インターフェロン遺伝子導入により誘導される抗腫瘍免疫は、ベクターの投与経路により異なる. 第 68 回日本癌学会学術総会. パシフィコ横浜(示説 P-1242)(2009).
- 117) 山地太樹、岩崎基、笹月静、坂本裕美、吉田輝彦、津金昌一郎. Methionine synthase A2756G 多型と大腸腺腫との関連. 第 68 回日本癌学会学術総会. パシフィコ横浜(示説 P-1301)(2009).
- 118) 溝田友里、山本精一郎、吉田輝彦、牛島俊和、勝俣範之、祖父江友孝、津金昌一郎、濱島ちさと、福田治彦、若尾文彦、関根郁夫、廣橋説雄. がん研究に対する国民の認識に関する研究. 第 68 回日本癌学会学術総会. パシフィコ横浜(示説 P-1319)(2009).
- 119) 市川 仁他: Difference between fetal liver cell-derived leukemia and adult bone marrow cell-derived leukemia, 第 68 回日本癌学会学術総会(2009).
- 120) 菅野康吉、牧島恵子、友田茉莉、矢崎久妙子、平澤晃、武田祐子、和泉 秀子、牛尼美年子、吉田輝彦: 日本人の遺伝性腫瘍に関するエビデンスの構築—研究から医療への展開— 第 15 回日本家族性腫瘍学会学術集会シンポジウ

- ム (2009).
- 121) 千原良友, Gangning Liang, Jones Peter A, 新井恵吏, 藤元博行, 菅野康吉, 藤本清秀, 平尾佳彦, 金井弥栄: 定量的 DNA メチル化解析に基づく尿路上皮がん診断示標 第68回日本癌学会学術総会(2009).
- 122) 菅野康吉: がんの遺伝的素因と遺伝カウンセリング 第 68 回日本癌学会学術総会モーニングレクチャ (2009).
- 123) 三宅牧人, 石井正純, 小山尚樹, 川島清隆, 児玉哲郎, 菅野康吉, 藤本清秀, 平尾佳彦: 尿路上皮癌細胞株を対象とした5-アミノレブリン酸投与下光線力学的治療の作用増強効果の検討 第68回日本癌学会学術総会(2009).
- 124) 松村善昭, 三宅牧人, 石井正純, 笠原優一, 友田茉莉, 久保麗子, 田中宣道, 藤本清秀, 平尾佳彦, 菅野康吉: 前立腺癌における融合遺伝子の検出に関する研究 第68回日本癌学会学術総会(2009).
- 125) 牛尼美年子, 菅野康吉, 鈴木茂伸, 坂本裕美, 吉田輝彦: 国立がんセンター中央病院における網膜芽細胞腫の遺伝診断 第68回日本癌学会学術総会(2009).
- 126) 菅野康吉: 遺伝カウンセリング 第 47 回日本癌治療学会総会教育シンポジウム(2009).
- 127) Kokichi Sugano, Seigo Nakamura, Jiro Ando, Hiromitsu Jinno, Tadashi Ikeda, Daisuke Aoki, Takashi Fukutomi, Teruhiko Yoshida, Masami Arai, Yasuo Hirai, Fujio Kasumi, Takafumi Fukui, Shiro Yokoyama, Nobuhisa Gondo, Yoshio Miki: Cross-sectional study of BRCA1 and BRCA2 mutations in Japanese patients suspected of hereditary breast/ovarian carcinoma BRCA Symposium: Fifteen Years of Progress October (2009).
- 128) 塚田俊彦 内分泌腫瘍の発生に関わる遺伝子, 第 68 回日本癌学会学術総会(2009).
- 129) Ochiya T and Takeshita F. CRS (Controlled Release Society). Oligonucleotides delivery 36TH ANNUAL MEETING AND EXPOSITION OF THE CONTROLLED RELEASE SOCIETY, Copenhagen ,Denmark. (2009).
- 130) Systemic delivery of synthetic microRNA-16 inhibits prostate tumor metastasis via downregulation of multiple cell cycle genes. Fumitaka Takeshita, Mitsuhiko Osaki, Ryu-u Takahashi, Nobuyoshi Kosaka, Masaki Kawamata, Takahiro Ochiya. 第 32 回日本分子生物学会. (2009).
- 131) Studies on RNA interference-mediated inhibition of cancer metastasis. Fumitaka Takeshita and Takahiro Ochiya. 第 68 回日本癌学会学術総会. (2009).
- 132) MicroRNA regulation of anti-cancer drug resistance in human breast cancer. Fumitaka Takeshita, Ryou-u Takahashi, Yusuke Yamamoto, Kaho Minoura, Toshiki Taya, Kosaka Nobuyoshi, Kimi Honma, Masaki Kawamata, Takahiro Ochiya. 第 68 回日本癌学会学術総会. (2009).
- 133) RPN2 exerts a functional role in supporting cancer stem cell phenotype. Ryou-u Takahashi, Fumitaka Takeshita, Masaki Kawamata, Takahiro Ochiya. 第 68 回日本癌学会学術総会. (2009).
- 134) Experimental therapy of autochthonous MCA-induced tumors by gene silencing with siRNA in mutant p53 transgenic mice. Hiroshi Tanooka, Kouichi Tatsumi, Hideo Tsuji, Yuko Noda, Hiroko Ishii, Akira Ootsuyama, Fumitaka Takeshita, Takahiro Ochiya. 第 68 回日本癌学会学術総会. (2009).
- 135) Identification of lung metastasis inhibitory microRNA in human osteosarcoma cells. Mitsuhiko Osaki, Fumitaka Takeshita, Ryu-u Takahashi, Nobuyoshi Kosaka, Eisuke Kobayashi, Tesshi Yamada, Hisao Ito, Mitsuo Oshimura, Takahiro Ochiya. 第 68 回日本癌

学会学術総会. (2009).

- 136) 合成ペプチドをキャリアとした siRNA の新規デリバリー方法の開発. 小林智、竹下文隆、落谷孝広. 遺伝子・デリバリー研究会第 9 回シンポジウム. (2009).

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得

無し

2. 実用新案登録

無し

3. その他

発明の名称: 膵がん患者に対して塩酸ゲムシタビンを投与した後の予後を予測するための検査方法

発明者: 西條長宏、古瀬純司、石井浩、奥坂拓志、上野秀樹、佐藤泰憲、吉田輝彦、澤田純一、齋藤嘉朗、鹿庭なほ子

出願日: 平成20年4月28日

出願人: 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団

発明の内容の概略: 膵がんの患者に対して塩酸ゲムシタビンを投与した後の、前記患者の予後を予測するための検査方法であって、該患者が有するABCC1遺伝子における多型および/または変異を検出することを特徴とする検査方法である。

別添4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
菅野康吉	癌の生物学特徴 エピジェネティクス	中川和彦	Cancer Treatment Nabigator	株式会社メ ディカルレ ビュー社	大阪	2008	34-35
Takehita F, Hokaiwado N, Honma K, Banas A, <u>Ochiya T</u>	Local and systemic delivery of siRNAs for oligonucleotide therapy	Sioud M (eds)	Methods in Molecular Biology: siRNA and miRNA Gene Silencing	Humana Press, a part of Springer Science + Business Media	New York, USA	2009	83-92
菅野康吉	家族性乳癌の最 新知見	園尾 博司	これからの乳 癌診療 2009~2010	金原出版 株式会社	東京	2009	102-109
菅野康吉	遺伝カウンセリング	藤原康弘、古 瀬純司、大山 優	What's New in Oncology がん治療エ ッセンシャル	株式会社 南山堂	東京	2009	112-118
菅野康吉	膀胱がんにおける 遺伝子検査	石井 勝	腫瘍マーカ ーハンドブッ ク 改訂版	株式会社 医薬ジャー ナル社	大阪	2009	284-288
菅野康吉	家族性大腸腺腫 症	幕内雅敏、菅 野健太郎、工 藤正俊	今日の消化 器疾患治療 指針 第3版	株式会社 医学書院	東京	2010	506-508

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kobayashi A., <u>Yoshida T</u> , et al.	Allogeneic major histocompatibility complex gene transfer enhances an effective antitumor immunity in the early period of autologous hematopoietic stem cell transplantation	Clin Can Res	13	7469- 7479	2007

Furuhata S., <u>Yoshida T</u> , et al.	Gene expression profiles of endothelial progenitor cells by oligonucleotide microarray analysis	Mol and Cell Biochem	298	125-138	2007
Hara H., <u>Yoshida T</u> , et al.	Local interferon- α gene therapy elicits a systemic immunity in a syngeneic pancreatic cancer model in hamster	Cancer Sci	98	455-463	2007
Nakayama R., <u>Yoshida T</u> , et al.	Gene expression analysis of soft tissue sarcomas: characterization and reclassification of malignant fibrous histiocytoma	Mod Pathol	20	749-759	2007
Saeki N., <u>Yoshida T</u> , et al.	GASDERMIN, suppressed frequently in gastric cancer, is a target of LMO1 in TGF- β dependent apoptotic signalling	Oncogene	26	6488-6498	2007
Takano T., <u>Yoshida T</u> , et al.	Epidermal growth factor receptor mutation detection using high-resolution melting analysis predicts outcomes in patients with advanced non small cell lung cancer treated with gefitinib	Clin Can Res	13	5385-5390	2007
Yajima S., <u>Yoshida T</u> , et al.	Expression profiling of fecal colonocytes for RNA-based screening of colorectal cancer.	International Journal of Oncology	31	1029-1037	2007
Miura Y., <u>Yoshida T</u> , et al.	Direct selection of targeted adenovirus vectors by random peptide display on the fiber knob	Gene Ther	14	1448-1460	2007
Tagata Y., <u>Ichikawa H</u> , et al.	Phosphorylation of PML is essential for activation of C/EBP ϵ and PU.1 to accelerate granulocytic differentiation.	Leukemia	22	273-280	2008
Yoshida H., <u>Ichikawa H</u> , et al.	PML-RARA inhibits PML IV enhancement of PU.1-induced C/EBP ϵ expression in myeloid differentiation.	Mol. Cell. Biol.	27	5819-5834	2007
Shimada A., <u>Ichikawa H</u> , et al.	Low frequency of KIT gene mutation in pediatric acute myeloid leukemia with inv(16)(p13q22): a study of the Japanese Childhood AML Cooperative Study Group.	Int. J. Hematol.	86	289-290	2007

Yanaba K., Sugano K., et al.	Muir-Torre syndrome caused by partial duplication of MSH2 gene by Alu-mediated nonhomologous recombination.	Br J Dermatol	158	150-156	2008
Miyake M., Sugano K., et al.	Sensitive detection of FGFR3 mutations in bladder cancer and urine sediments by peptide nucleic acid-mediated real-time PCR clamping.	Biochem Biophys Res Commun.	362	865-871	2007
Ono M., Tsukada T., et al.	Foxp3 controls regulatory T-cell function by interacting with AML1/Runx1	Nature	446	685-689	2007
Takeshita F., Ochiya T., et al.	Optical imaging of RNAi-mediated silencing of cancer.	Proc. Biomed. Optics and Med.	9	6868 0H	2008
Takeuchi T., Ochiya T., et al.	Tissue array substratum composed of histological sections: a new platform for orienting differentiation of embryonic stem cells towards hepatic lineage.	Tissue Eng.	14	267-274	2008
Morita S., Ochiya T., et al.	One Argonaute family member, Eif2c2 (Ago2), is essential for development and appears not to be involved in DNA methylation.	Genomics	89	687-696	2007
Ochiya T., et al.	Atelocollagen-mediated drug discovery technology.	Expert Opin Drug Discov.	2	159-167	2007
Honma K., Ochiya T., et al.	Type I collagen gene suppresses tumor growth and invasion of malignant human glioma cells.	Cancer Cell Int.	7	1-9	2007
Banas A., Ochiya T., et al.	Stem cell plasticity: learning from hepatogenic differentiation strategies.	Dev Dyn.	236	3228-3241	2007
Nakayama R., Yoshida T., et al.	Association of missense SNP, Cys1367Arg of the WRN gene, with the risk of bone and soft tissue sarcomas in Japan	Cancer Sci	99	333-339	2008
Yamashita M, Yoshida T., et al.	Psychological impact and associated factors after disclosure of genetic test results concerning hereditary non-polyposis colorectal cancer.	Stress and Health	24	407-412	2008

Ohnami S, <u>Yoshida T</u> , et al.	His595Tyr Polymorphism in the Methionine Synthase Reductase (MTRR) Gene is Associated with Pancreatic Cancer Risk.	Gastroenterol	135	477-488	2008
Sakamoto H, <u>Yoshida T</u> , et al.	Genetic variation in PSCA is associated with susceptibility to diffuse-type gastric cancer	Nat Gen	40	730-740	2008
Yasuda K, <u>Yoshida T</u> , et al.	Variants in KCNQ1 are associated with susceptibility to type 2 diabetes mellitus	Nat Gen	40	1092-1097	2008
Hanada S, <u>Yoshida T</u> , et al.	Expression profile of early lung adenocarcinoma: identification of MRP3 as a molecular marker for early progression	J Pathol	216	75-82	2008
Kim SR, <u>Yoshida T</u> , et al.	Twenty novel genetic variations and haplotype structures of the DCK gene encoding human deoxycytidine kinase (dCK).	Drug Metab Pharmacokinet	23	379-384	2008
Yamaji T., <u>Yoshida T</u> , et al.	Methionine synthase A2756G polymorphism interacts with alcohol and folate intake to influence the risk of colorectal adenoma.	Cancer Epidemiol Biomarkers Prev	18	267-274	2009
Ohta H., <u>Yoshida T</u> , et al.	Cross talk between hedgehog and epithelial-mesenchymal transition pathways in gastric pit cells and in diffuse-type gastric cancers.	Br J Cancer	100	389-398	2009
Saeki N., <u>Yoshida T</u> , et al.	Distinctive expression and function of four GSDM family genes (GSDMA-D) in normal and malignant upper gastrointestinal epithelium.	Genes Chromosomes Cancer	48	261-271	2009
Saito Y, <u>Yoshida T</u> , et al.	Close association of UGT1A9 IVS1+399C>T with UGT1A1*28, *6, or *60 haplotype and its apparent influence on 7-ethyl-10-hydroxycamptothecin (SN-38) glucuronidation in Japanese	Drug Metab Dispos	37	272-276	2009
Ueno H, <u>Yoshida T</u> , et al.	Homozygous CDA*3 is a major cause of life-threatening toxicities in gemcitabine-treated Japanese cancer patients	Br J Cancer	100	870-873	2009

Jo A, <u>Ichikawa H</u> , et al.	Age-associated difference in gene expression of pediatric acute myelomonocytic lineage leukemia (FAB M4 and M5 subtypes) and its correlation with prognosis.	Br.J. Haematol.	144	917-929	2008
Hirai Y, <u>Sugano K</u> , et al.	Molecular epidemiological and mutational analysis of DNA mismatch repair (MMR) genes in endometrial cancer patients with HNPCC-associated familial predisposition to cancer.	Cancer Sci	99	1715-1719	2008
Ohkura N, <u>Tsukada T</u> , et al.	Differential transactivation by orphan nuclear receptor NOR1 and its fusion gene product EWS/NOR1: possible involvement of poly(ADP-ribose) polymerase I, PARP-1.	J Cell Biochem	105	785-800	2008
<u>Tsukada T</u> , et al.	MEN1 gene and its mutations: basic and clinical implications.	Cancer Sci	100	209-215	2009
Osaki M, <u>Ochiya T</u> , et al.	MicroRNAs as biomarkers and therapeutic drugs in human cancer	Biomarkers	13	658-670	2008
Banas A, <u>Ochiya T</u> , et al.	IFATS collection: in vivo therapeutic potential of human adipose tissue mesenchymal stem cells after transplantation into mice with liver injury	Stem Cells	26	2705-2712	2008
Hokaiwado N, <u>Ochiya T</u> , et al.	RNAi-based drug discovery and its application to therapeutics	IDrugs	11	274-278	2008
Hokaiwado N, <u>Ochiya T</u> , et al.	Glutathione S-transferase Pi mediates proliferation of androgen-independent prostate cancer cells	Carcinogenesis	29	1134-1138	2008
Honma K, <u>Ochiya T</u> , et al.	RPN2 gene confers docetaxel resistance in breast cancer	Nat Med	14	939-948	2008
Kodama M, <u>Ochiya T</u> , et al.	Pancreatic endocrine and exocrine cell ontogeny from renal capsule-transplanted embryonic stem cells in streptozocin-injured mice	J Histochem Cytochem	56	33-44	2008
Kosaka N, <u>Ochiya T</u> , et al.	Identification of erythropoietin-induced microRNAs in haematopoietic cells during erythroid differentiation	Br J Haematol	142	293-300	2008

Matoba T, <u>Ochiya T</u> , et al.	An siRNA against JC virus (JCV) agnoprotein inhibits JCV infection in JCV-producing cells inoculated in nude mice	Neuropathology	28	286-294	2008
<u>Ochiya T</u> , et al.	Optical imaging of RNAi-mediated silencing of cancer	Proc of SPIE	6868	68680H1-68680H11	2008
Takahashi R, <u>Ochiya T</u> , et al.	Presentation of functional foreign peptides on the surface of SV40 virus-like particles	J Biotechnol	135	385-392	2008
Ueda S, <u>Ochiya T</u> , et al.	Establishment of rat embryonic stem cells and making of chimera rats	PLoS ONE	3	E2800	2008
Yamamoto Y, <u>Ochiya T</u> , et al.	A comparative analysis of the transcriptome and signal pathways in hepatic differentiation of human adipose mesenchymal stem cells	FEBS J	275	1260-1273	2008
Yu D, <u>Ochiya T</u> , et al.	Down regulation of BRCA2 causes radio-sensitization of human tumor cells in vitro and in vivo	Cancer Sci	99	810-815	2008
Sato Y., <u>Yoshida T</u> , et al.	A new statistical screening approach for finding pharmacokinetics-related genes in genome-wide studies	The Pharmacogenomics J	9	137-146	2009
Hiura Y., <u>Yoshida T</u> , et al.	Identification of Genetic Markers Associated With High-Density Lipoprotein-Cholesterol by Genome-Wide Screening in a Japanese Population	Circ J	73	1119-1126	2009
Kobayashi M., <u>Yoshida T</u> , et al.	Association between dietary heterocyclic amine levels, genetic polymorphisms of NAT2, CYP1A1, and CYP1A2 and risk of colorectal cancer: A hospital-based case-control study in Japan	Scand J Gastroenterol	44	952-959	2009
Nishimoto T., <u>Yoshida T</u> , et al.	Oncolytic virus therapy for pancreatic cancer using the adenovirus library displaying random peptides on the fiber knob	Gene Ther	16	669-680	2009
Hara H., <u>Yoshida T</u> , et al.	Intratumoral interferon-alpha gene transfer enhances tumor immunity after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Cancer Immunol Immunother	58	1007-1021	2009

Naruse H., <u>Yoshida T.</u> et al.	Determination of splice-site mutations in Lynch syndrome (hereditary non-polyposis colorectal cancer) patients using functional splicing assay	Fam Cancer	8	509-517	2009
Sangrajrang S, <u>Yoshida T.</u> et al.	Genetic polymorphisms of estrogen metabolizing enzyme and breast cancer risk in Thai women	Int J Cancer	125	837-843	2009
Wu X., <u>Yoshida T.</u> et al.	Genetic variation in the prostate stem cell antigen gene PSCA confers susceptibility to urinary bladder cancer.	Nat Genet	41	991-995	2009
Isohata N., <u>Yoshida T.</u> et al.	Hedgehog and epithelial-mesenchymal transition signaling in normal and malignant epithelial cells of the esophagus	Int J Cancer	125	1212-1221	2009
Kobayashi M., <u>Yoshida T.</u> et al.	Association between dietary heterocyclic amine levels, genetic polymorphisms of NAT2, CYP1A1, and CYP1A2 and risk of stomach cancer: a hospital-based case-control study in Japan.	Gastric Cancer	12	198-205	2009
Sano M., <u>Yoshida T.</u> et al.	Forkhead box A1 transcriptional pathway in KRT7-expressing esophageal squamous cell carcinomas with extensive lymph node metastasis	Int J Oncol	36	321-330	2010
Sugiyama E., <u>Yoshida T.</u> et al.	Population pharmacokinetics of gemcitabine and its metabolite in Japanese cancer patients: Impact of genetic polymorphisms	Clinical Pharmacokinetics			in press.
Sai K., <u>Yoshida T.</u> et al.	Association of carboxylesterase 1A genotypes with irinotecan pharmacokinetics in Japanese cancer patients.	Br J Clin Pharmacol			in press
<u>Yoshida T.</u> et al.	Genome-wide germline analyses on cancer susceptibility and GeMDBJ database: gastric cancer as an example	Cancer Sci			in press
Noda S., <u>Ichikawa H.</u> et al.	Hematopoietic stem cell aging is associated with functional decline and delayed cell cycle progression.	Biochem Biophys Res Commun	383	210-215	2009

Miyake M., <u>Sugano K.</u> , et al.	siRNA-mediated knockdown of the heme synthesis and degradation pathways: modulation of treatment effect of 5-aminolevulinic acid-based photodynamic therapy in urothelial cancer cell lines.	Photochem Photobiol	85	1020-1027	2009
Iwama T., <u>Sugano K.</u> , et al.	Identification of somatic APC mutations in recurrent desmoid tumors in a patient with familial adenomatous polyposis to determine actual recurrence of the original tumor or de novo occurrence.	Fam Cancer	8	51-54	2009
Miyake M., <u>Sugano K.</u> , et al.	Fibroblast growth factor receptor 3 mutation in voided urine is a useful diagnostic marker and significant indicator of tumor recurrence in non-muscle invasive bladder cancer.	Cancer Sci	101	250-258	2010
<u>Tsukada, T.</u> , et al.	<i>MEN1</i> gene and its mutations: basic and clinical implications.	Cancer Sci	100	209-215	2009
Okamoto T., <u>Tsukada T.</u> , et al.	Parathyroid carcinoma: etiology, diagnosis, and treatment.	World J Surg	33	2343-2354	2009
Kitoh A., <u>Tsukada, T.</u> , et al.	Indispensable role of the Runx1-Cbf transcription complex for in vivo-suppressive function of Foxp3+ regulatory T cells.	Immunity	31	1-12	2009
Tanooka H., <u>Takeshita F.</u> , et al.	Mutant mouse p53 transgene elevates the chemical induction of tumors that respond to gene silencing with siRNA.	Cancer Gene Ther	17	1-10	2009
Honma K., <u>Takeshita F.</u> , et al.	Screening of potential molecular targets for colorectal cancer therapy.	Int J General Med	2	243-257	2009
<u>Takeshita F.</u> , et al.	Systemic delivery of synthetic microRNA-16 inhibits the growth of metastatic prostate tumors via downregulation of multiple cell cycle genes.	Mol Ther	18	181-187	2010
Kosaka, <u>Takeshita, F.</u> , et al.	Secretory mechanisms and intercellular transfer of microRNAs in living cells.	J Biol Chem			In press

